

## FAQ [G.729](#)

### G.729

**Sipro Lab Telecom はどのような企業を代表していますか？**

Sipro Lab Telecom はフランステレコム (France Telecom)、日本電信電話株式会社 (NTT)、株式会社東芝、シェルブルーク大学 (Université de Sherbrooke) がメンバーである G.729 コンソーシアムを代表しています。これらの企業は共同ライセンス契約において各社の権利を集めました。また、Sipro Lab Telecom は別の契約によって NEC の権利も代表しています。

**パテントライセンス契約とは何を意味し何を含みますか？**

G.729 パテントライセンス契約はパテントの権利のみを許可します。即ち、G.729 ライセンサーのパテント済の技術を使用する権利です。ソフトウェアコードは提供されません。

**G.729 コンソーシアムライセンスは ITU-T G.729 標準が信号をエンコードするのに使用される時のみに必要なのでしょうか？**

いいえ。G.729 コンソーシアムライセンスは音声信号のエンコードとデコードの両方に必要です。

**どのようにロイヤリティーは計算されますか？**

ロイヤリティーはチャンネル量 (ポートとも呼ばれます) に基づいて計算されます。チャンネルの累積数は時間で算出され、到達したチャンネル量に従い価格が適用されます。(価格に関する [Licensing Terms](#) を参照してください。)あるチャンネル量の限界点に到達すると量に応じて新しい価格レベルが適用されます。算出はライセンス期間を通して累積されます。

**チャンネルとは？**

チャンネルとは単一の一点から一点への音声会話データストリームを処理する能力を意味します。一方向または双方向、継続またはシーケンスいずれも含まれます。

**初期料金とは？ 最低年間料金とは？**

一般ライセンス枠内のロイヤリティーに基づく支払いのためのみに必要な初期料金は契約署名時に一回のみの支払いで、G.729 標準を使用するすべての製品をカバーします。初期料金は前払いのチャンネル数を提供しません。

最低年間料金は契約期間中ライセンスの有効維持のために必要です。最低年間料金はライセンス契約の2年目の最後に適用され、契約期間中それ以降も毎年適用されます。

例: ライセンシーが 5,000 チャンネルを\$ 1.15 で販売すると年間総計 \$5,750.00 となります。この額は最低年間料金を下回ります。よってライセンシーは最低年間料金と当該年度に支払った額の差額である\$1,750.00 の請求書を受取ります。

#### **前払いオプションのためのアップグレード料金とは?**

追加の前払いチャンネルを購入するための料金です。例えば、契約署名時にある企業が\$217,000でG.729の200,000チャンネルを購入したとします。ある一定期間後、G.729の200,000チャンネル以上を販売し、300,000の追加チャンネルの販売を予測し、累積合計として500,000チャンネルの販売を予測したとします。その際、その企業は前払いオプション表のアップグレード料金で販売した最大チャンネル数、即ち200,000から500,000チャンネルに相当する\$293,000の追加料金を支払うこととなります。

#### **インターネット・テレフォニー・アプリケーションとは?**

インターネット・テレフォニー・アプリケーションとはPCからPCまたはPCから有線電話へのコミュニケーションに使用されるクライアントのみのソフトウェアです。PCとはハードディスクドライブがあり、第一次インプット装置として両手で使用するよう設計されたアルファベット・数字のキーボードがある多機能デスクトップ、ノートブックパーソナルコンピューター、またはワークステーションのことです。

#### **G. 729 標準 並びに G. 723. 1 標準の両方に対して必須でありうるパテントのためになぜ 2 回支払わなければならないのでしょうか?**

それぞれの標準に対し必須なポートフォリオは、何人かが同じパテント所有者であっても異なっています。標準は本来異なるアプリケーションに与えられたものであり、よって必須パテント所有者は潜在的なライセンシーの異なるニーズに対応できるよう二つの異なるライセンス機関を設立しました(G. 729 コンソーシアム 並びに G. 723. 1 グループです)。これらの標準のそれぞれに対する価格設定は全体のポートフォリオに対する市場の受け入れを確認することにより設定されました。

#### **G. 729 パテントライセンス契約を必要とするのはどのような製品ですか。**

G. 729 テクノロジーを使用する最終製品は G. 729 パテントライセンス契約が必要となります。該当最終製品とは通常アクセス装置、オーディオ・ビデオ会議装置、コールセンター装置、IP 電話、IP/PBX、メディアゲートウエイ等を含んでいません。汎用のマイクロプロセッサやチップセットはこのカテゴリーから除外されます。

**汎用のマイクロプロセッサ、チップセットとは何ですか。**

汎用のマイクロプロセッサまたはチップセットとは特定のアプリケーションに専有となっていない多目的デジタル信号処理装置またはその他のマイクロプロセッサでG.729のチャンネル数がカウントできないG.729インプリメンテーションが含まれているか、またはG.729インプリメンテーション付で納品されたものです。